

学校教育目標

学びあい 助けあって 自分を高める

研究主題・副題

未来に向かう力をもった氷川っ子の育成  
～一人ひとりのコミュニケーション能力を高める取組を通して～

児童の実態

- 外国語学習を楽しみにしている児童が多く、興味をもって授業に取り組んでいる。
- 既習事項を使った「Review Talking」では、教師や友達と楽しく会話する姿が見られる。
- 2学期から始めた「Writing Time」では、アルファベットを楽しそうに書いている。
- 外国語を使った発表に対しては、苦手意識がある児童もいる。

教師の願い

- 外国語の学習に対する興味・関心を高め、進んで取り組む児童を育てたい。
- 外国語で表現し、楽しく伝え合う児童を育てたい。
- 主体的にコミュニケーションを図ろうとする児童を育てたい。
- どの児童も「できる」「話せる」喜びを感じる英語授業を行いたい。

目指す児童像

外国語での  
コミュニケーションに  
意欲的な児童

外国語の音声に慣れ親しみ、  
日常生活の簡単な英語を  
聞いたり話したりできる児童

外国語の文字に慣れ親しみ、  
簡単な英語を読んだり  
書いたりしようとする児童

研究の仮説

- 目的意識をもたせることで、外国語でのコミュニケーションへの関心が高まるであろう。
- 多様な聞く活動を取り入れることで、外国語での音声に慣れ親しみ、類推して内容を聞く力が育つであろう。
- 繰り返し外国語を話す活動を取り入れることで、外国語での言い方を理解し、自分の考えや気持ちを話す力が育つであろう。
- 文字にふれる場面を多く設定すれば、児童が自然に読もうとしたり、書こうとしたりする力が育つであろう。

研究の内容

- 9カ年を見通した学習計画（系統性を意識した学習内容・発達段階に応じた活動内容・評価方法）の研究。
- 外国語を用いたコミュニケーションを高める指導法・教材開発を行う。
- 外国語に関心意欲がもてるような学校掲示等の研究を行う。